

地域との交流活動（2007年度）

1．普天間小学校5年生との交流会

交流日：2007年7月18日（水）

場所：志真志小学校

参加者：志真志小学校5年生および留学生16名
（共通教育日本語初級クラスおよび
日本語研修コース；アメリカ、カナダ、
中国、台湾、韓国、タイ）



交流会の内容：

- ・4組に分かれ、留学生が自分の国について模造紙1枚にまとめたものを使いながら、自分の国を紹介し、小学生からの質問を受けました。
- ・ゲームをしたり、校内を案内してもらったりしました。

引率者のコメント：

留学生の日本語力向上に役に立つだけでなく、小学校の国際理解教育、地域の国際化にも貢献できる、大変意義深い活動となりました。

2．琉大附属小学校4年生との交流会

交流日：2007年12月12日（水）

場所：琉大附属小学校体育館

参加者：琉大附属小学校4年生および留学生20名
（日本語研修コースおよびURSEP
基礎日本語クラス；台湾、中国、
インドネシア、タイ、韓国、ミクロネシア、
パプアニューギニア、フランス、
ミャンマー、モンゴル、ラオス、ロシア、チュニジア、ブータン）



交流会の内容：

- ・歓迎会：生徒が歓迎のダンスを披露し、留学生が自己紹介。
- ・4グループに分かれ、ゲーム。
- ・英語を使って、コミュニケーション活動。
- ・留学生が4グループに分かれ、それぞれのブースでお国紹介。生徒は自由にブースを見て回り、留学生に質問。
- ・一緒に給食を食べました。

引率者のコメント：

小学校側の今回の交流会の目標は、「異文化交流を行うことによって国際理解を深める。英語でコミュニケーションを行うことで英語に対する興味関心を高める。」というものでした。留学生にとっても日本語を使える良い機会となり、お互いメリットがあります。また、児童、留学生、共に好評であったので、ぜひこうした交流を今後も続けていきたいと考えています。

3. 那覇市立古蔵小学校4年生との交流会

交流日：2007年12月12日（水）

場所：那覇市立古蔵小学校

参加者：那覇市立古蔵小学校4年生および留学生8名

（URSEP 留学生のうち日本語初級者を除く7名と STRP 留学生1名；台湾、ベトナム、中国、アメリカ、イギリス、フランス、オーストラリア）

交流会の内容：

- ・ 体育館で歓迎会
- ・ 8つのグループに分かれ、留学生が自分の国について紹介。生徒が質問。
- ・ 教室でゲームをしたり、パフォーマンス（空手の演武やエイサー）を見せてもらいました。
- ・ 一緒に給食を食べました。



壇上で挨拶



質問タイム



エイサーを披露



一緒に給食

引率者のコメント：

留学生たちは「子供たちが可愛かった。本当に楽しい時間を過ごせた」と、喜んでいました。

4．那覇市立城北小学校との交流会

交流日：2007年12月18日（火）

場所：那覇市立城北小学校

参加者：城北小学校の生徒および留学生24名（共通教育日本語クラス）

交流会の内容：

- ・10名が6年生と、14名が4年生と交流しました。
- ・1年生～6年生の各クラスに留学生が入り、一緒に給食を食べました。



4年生との交流会



6年生との交流会



給食

引率者のコメント：

今回の訪問についてアンケート調査を行ったところ、小学校を訪問すること自体には肯定的な意見が多かったものの、子供たちに英語で話させたがる傾向が強かったことに対しては辛口のコментарが多かったです。

5．西崎養護学校中等部との交流会

交流日：2008年2月15日（金）

場所：西崎養護学校体育館

参加者：西崎養護学校中等部生徒およびインドネシア人留学生会

交流会の内容：

- ・歓迎会：中等部の生徒が歓迎の言葉およびエイサー披露。留学生が自己紹介。
- ・3グループに分かれ、ゲーム。
- ・留学生がパワーポイントでインドネシアを紹介し、伝統的なダンスを披露。
- ・留学生が生徒に簡単なダンスを教え、一緒にダンス。



引率者のコメント：留学生が帰る時は、生徒たちが校門まで見送ってくれて、いつまでも手を振り続けていました。後日、留学生一人一人に、生徒手書きのお礼の手紙が届き、留学生たちは感激！していました。